

平成31年1月に実施された「鹿児島学習定着度調査」の結果についてお知らせ

学習定着度を見る

鹿児島学習定着度調査とは

県内の公立小学校5年生、中学校1・2年生の児童生徒を調査対象とした鹿児島県独自の学力調査です。基礎的・基本的な知識・技能や思考力・判断力・表現力などに関する学力状況の把握、そして児童生徒の学習に関する意識や学び方などの学習状況の把握を目的にしています。

小学5年生		国語	社会	算数	理科
曾於市		54.2	68.5	67.3	50.0
地区		56.6	69.6	69.9	50.8
県		60.1	72.9	72.8	54.6
地区比		-2.4	-1.1	-2.6	-0.8
県比		-5.9	-4.4	-5.5	-4.6
基礎・基本	曾於市	59.9	77.6	73.3	55.4
	県	64.8	79.8	78.0	59.7
	県比	-4.9	-2.2	-4.7	-4.3
思考・表現	曾於市	38.8	49.1	55.4	42.9
	県	47.5	58.1	62.3	47.8
	県比	-8.7	-9.0	-6.9	-4.9

【分析】すべての教科で地区平均、県平均を下回る結果となりました。「基礎・基本」「思考・表現」ともに学習内容の定着が不十分です。また学校間の差もあります。学校全体で授業改善や個別指導に取り組み、基礎・基本の定着を徹底する必要があります。

中学1年生		国語	社会	数学	理科	英語
曾於市		55.7	64.3	57.4	53.4	67.5
地区		59.3	58.1	56.1	55.1	69.8
県		61.9	62.2	59.7	59.2	73.3
地区比		-3.6	+6.2	+1.3	-1.7	-2.3
県比		-6.2	+2.1	-2.3	-5.8	-5.8
基礎・基本	曾於市	57.7	69.7	66.1	56.4	71.7
	県	63.2	68.8	68.0	62.2	76.5
	県比	-5.5	+0.9	-1.9	-5.8	-4.8
思考・表現	曾於市	50.7	51.7	35.1	48.1	60.5
	県	58.5	46.5	39.0	53.9	67.9
	県比	-7.8	+5.2	-3.9	-5.8	-7.4

【分析】社会科と数学科が、地区平均を超える結果となりました。しかし、教科間の差があり「基礎・基本」「思考・表現」ともに、各教科の課題点を更に細かく分析し、授業改善や個別指導に生かしていく必要があります。

中学2年生		国語	社会	数学	理科	英語
曾於市		70.0	57.6	65.0	47.6	56.3
地区		66.0	48.7	57.7	46.5	48.1
県		67.6	51.2	60.8	50.3	51.7
地区比		+4.0	+8.9	+7.3	+1.1	+8.2
県比		+2.4	+6.4	+4.2	-2.7	+4.6
基礎・基本	曾於市	71.4	59.0	70.5	56.0	59.0
	県	71.0	54.9	65.1	55.9	58.3
	県比	+0.4	+4.1	+5.4	+0.1	+0.7
思考・表現	曾於市	66.2	54.2	56.6	30.9	52.1
	県	58.4	42.6	54.1	39.0	41.4
	県比	+7.8	+11.6	+2.5	-8.1	+10.7

【分析】すべての教科で地区平均を超える結果となりました。また、ほとんどの教科で県平均を超えています。「基礎・基本」「思考・表現」ともに概ね良好で、日常の取組が確かな学力の定着につながっています。

全県的な傾向との比較・分析などを通じて、自校の課題を明確にし問題解決的な学習活動を取り入れるなど、各学校では教員の指導法改善に役立てています。「鹿児島学習定着度調査」結果や対策等については、学校ごとに自校結果を公表していますので、ご参照ください。

※ 地区平均は、志布志市・大崎町・曾於市の調査結果を平均したものです。

※ この調査は曾於市の実施学年の学力を示すものであり、曾於市全体の学力を示すものではありません。

問 教育委員会 学校教育課 ☎ 099-482-5957